

平成19年度 食育推進にかかる県の取組

全体予算額 401,639千円

うち主な取組

食を通じて健康な体をつくるために
16事業
130,944千円

子ども食育推進事業費
15,350千円

- 学校・家庭・地域が連携して健康な子どもたちを育てるための食育を推進します。
- ・子ども食育発信校の委嘱 各市町村1校
- ・「学ぶ食フォーラム」の開催（名古屋国際会議場：11月27日）
- ・朝ごはんキャンペーンの実施
- ・市町村における「愛知を食べる学校給食の日」の推進
- ・栄養教諭を中核とした家庭・地域連携型の食育の推進

あいち健康長寿プロジェクト
45,000千円

- 平成18年3月に発表した「健康長寿あいち宣言」に基づき、「あいち健康の森」を拠点に、産・学・行政の協働のもと「健康長寿あいち」の実現を目指します。
- ・県民の皆様が自ら行う健康づくりを支援するIT環境の整備
- ・健康長寿あいち県民運動の推進

食を通じて豊かな心を育むために
7事業
58,774千円

「農楽の先生」推進費
7,500千円

- 農林水産業のすばらしさや食の大切さなど食育の理解促進を図ります。
- ・小中学生への農林水産業の現状や技術を紹介するための出前講座の実施

食を通じて環境に優しい暮らしを築くために
15事業
99,113千円

地産地消推進事業費
9,925千円

- 身近なところでとれる農林水産物の消費や利用を促進します。
- ・「いいともあいち運動」の展開
- ・学校給食における愛知県産農林水産物の導入促進

食と緑普及啓発事業費
11,220千円

- 「地産地消」の意識を醸成するため、農林水産業の情報を発信します。
- ・「ふるさと農林水産フェア」の開催（吹上ホール：10月5～7日）

食育を広めるために
6事業
112,808千円

あいち食育推進事業費
17,000千円

- 県民への食育の普及啓発を図ります。
- ・「みんなで進めよう あいちの食育県民大会」の開催（愛知県芸術劇場大ホール：6月7日）
- ・地域食育フォーラムの開催（県内7地域）
- ・食育を学ぶホームページ「食育ネットあいち」の開設
- ・食育普及啓発資材の作成

平成19年度 食育推進にかかる各団体の取組

団体名	取組の概要
愛知県小中学校長会	県内小中学校に対して、給食を中心とした食に関する調査を実施し、それを基に望ましい食生活を目指した学校と家庭との連携を推進する。
愛知県小中学校PTA連絡協議会	<p>① 厚生給食委員会を中心に、米飯給食を含めた学校給食の向上や食生活における家庭と学校との連携を図る。</p> <p>② 平成18年4月から全国規模で「早寝・早起き・朝ごはん国民運動」が展開されており、平成19年度も年次総会時に「愛知のPTA」特集号に同記事を記載して、会員に啓発する。</p>
(財)愛知県学校給食会	<p>① 地元農産物を活用した学校給食用物資の開発や学校や家庭への食に関する情報を提供する。</p> <p>【重点的な取組】</p> <p>② 学校給食調理コンクール</p> <p style="padding-left: 20px;">学校給食における衛生的で安全な食事内容の充実と献立の多様化を図るため、学校給食関係者による調理コンクールを開催し、調理技術の研さんと意欲の高揚に資する。(開催日：8月10日)</p> <p style="padding-left: 20px;">(参考)平成18年度で33回目となる学校給食調理コンクールを開催している。平成18年度のテーマは「あったらいいな！こんな給食」で、食育が重要視される中で子どもが考えた料理を取り入れた献立募集に過去最高の291チームが参加した。</p> <p>③ 学校給食教室</p> <p style="padding-left: 20px;">健康教育としての学校給食とごはんを中心とした日本型食生活について保護者の認識を深め、家庭との連携を図りながら、学校給食について、より一層の理解を得る。(開催日：11月7日・8日・15日・16日)</p> <p>④ 食育推進学校栄養職員研修会</p> <p style="padding-left: 20px;">学校栄養職員を対象に食育推進のための研修会を開催し、食育指導に必要な知識の習得を図る。</p> <p style="padding-left: 20px;">(開催日：12月25日)</p>
愛知県栄養教諭学校栄養職員研究協議会	<p>① 「朝食をしっかりと食べよう」を県内統一テーマにし、食に関する指導を実施する。</p> <p style="padding-left: 20px;">本協議会は「朝食をしっかりと食べよう」を県内統一テーマにし、学校・家庭・地域を対象に直接指導または間接指導を行い、朝食欠食率を小学校はゼロに、中学校は3割以下をめざす(比較：栄養教諭配置校は朝食欠食率ゼロ)。</p> <p>[具体的な取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食育の講話・講演会の実施 ・ 料理教室の開催 ・ 学校給食試食会の開催、教育セミナーの実施、フェスタの開催、個別指導

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科での授業・栄養指導の実施 ・ 食育だよりの発行、献立表、学校放送、ポスターの作成 <p>② 食文化の伝承</p> <p>「地場産物」「郷土食」「行事食」「伝統食」を学校給食の献立に取り入れるだけではなく、食育だよりや料理教室等で広く家庭・地域に紹介することで意識を高める。</p> <p>③ 実態調査</p> <p>栄養教諭・学校栄養職員を対象として、衛生管理・学食連携・食事環境・食に関する指導・個別指導・食物アレルギー等さまざまな角度から実態調査を行い、問題点を把握し、問題解決に向かったの支援を行う。</p> <p>④ ホームページを活用した情報の発信</p>
愛知県国公立幼稚園長会	幼稚園の園長やPTA代表者を対象とした食に関する講演会の開催や、各幼稚園では親子で野菜栽培をしたり、穫れた野菜を味わったりする取組などを行う。名古屋市以外では、給食を通じた食の指導を行う。
(社)愛知県医師会	① 肥満、メタボリックシンドローム、生活習慣病の予防等について、県民への健康教育講座を開催する。② 名古屋市地域女性団体連絡協議会の会報「女性なごや」の暮らしの情報コーナーを通じた健康意識の啓発を行う。
(社)愛知県歯科医師会	① 今年6月に日本歯科医師会が採択する予定の「食育推進宣言」に基づき、愛知県歯科衛生士会、愛知県栄養士会、食生活改善協議会等の団体と連携し、食育を推進していく。 また、8020運動のさらなる推進により「あいち食育いきいきプラン」の目標値達成を目指し、口と歯の健康を支えていきます。 ② 今年11月11日開催予定の「8020健口フェスティバル」において、食育と健康増進等をテーマにシンポジウム実施予定。
(社)愛知県薬剤師会	① 食材と医薬品の相互作用、サプリメントやダイエット食品等についての啓発として、東海四県薬剤師会共同で作成した冊子「医薬品と健康食品の相互作用（2004.12）」「病態から見る健康食品—影響と相互作用1（2005.12）、2（2006.11）」を改訂し、1冊にまとめて発刊する予定。 ② 平成19年6月14日（木）10:00～12:30 ウィルあいち1Fセミナールームにて開催される「母と子の健康支援セミナー」で『賢く摂ろう！健康食品』と題した、NR（栄養情報担当者）による講演を行う。 ③ 店頭におけるバランスのとれた食生活実践の啓発 1 運動とバランスのとれた食事の重要性の意識付け 2 規則正しい食事の重要性の啓発

	<p>3 食事バランスガイドの普及、NR（栄養情報担当者）の配置等）</p> <p>④ 学校薬剤師による「くすりの話」</p> <p>⑤ 健康介護まちかど相談薬局による地域に密着した相談業務</p>
(社)愛知県栄養士会	<p>一般県民向けに「食生活指針」及び「食事バランスガイド」を基本とした、エコファーマーズ朝市村の「栄養相談」。いいとも愛知協働事業「親子料理教室」、ふるさと農林水産フェア食育コーナー「食生活診断」、児童福祉施設対象の「クッキング講座」こども対象の「お料理マジック教室」を開催する。</p> <p>なお、18年度は各種スーパーマーケットや保健組合等において「健康づくり教室」「栄養相談」「食事バランスガイド実証事業」等に延べ161名の会員が関わり、延べ11,053名を指導した。その他CD「食育のうたーお腹がグー」を作成・提供して食育問題の重要性をアピールしている。</p>
(財)愛知県健康づくり振興事業団	<p>あいち健康プラザにおける料理から健康づくりを学ぶ栄養教室の開催や総合健診センターにおける生活習慣病検診等を実施する。</p>
愛知県健康づくり食生活改善協議会	<p>① 各市町村の地域において「食生活指針」、「食事バランスガイド」の普及など料理教室等の実践を通じて食生活改善活動に取り組む。</p> <p>② 「愛知県食育推進ボランティア」として多くの会員が登録し活動を行う。</p> <p>③ 平成19年度自主事業として、子どもから高齢者までの幅広い年代層の方々に料理教室やパンフレット配布等による食育の推進のひとつとして、正しい食習慣の普及活動を実施する。</p> <p>【重点的な取組】</p> <p>④ 食育推進月間事業 実施日：6月から3月 対象：一般県民約2,000人 内容：毎月19日の「食育の日」に合わせ、毎月19日食育の日パンフレットを配布。食を通しての健康づくりの大切さなどについて普及啓発を行う。</p> <p>⑤ 各市町村協議会食事バランスガイド作成 実施日：12月から3月 対象：県内50市町村協議会 内容：県内50市町村協議会において、伝承料理や地域で生産された食料（農林水産物）を用いた料理での食事バランスガイドを作成した。この食事バランスガイドを用い、食育推進に努める。</p>
(福)愛知県社会福祉協議会保育愛知部会	<p>① 各保育所において給食を通しての食習慣指導や農業体験等を実施する。</p> <p>② 保育部会が実施する「保育所長研究会」の分科会で「保育所ですすめる食育」について研究協議等を行う。</p> <p>③ 平成19年7月12・13日に開催される「第48回東海北陸保育研究大会」に代表を派遣。分科会において「保育所ですすめ</p>

	る食育の充実を図る」をテーマに発表を行う。事前に発表内容の検討を行う。
愛知県農業協同組合中央会	<p>① 農協において、農業体験学習、市民農園、バケツ稲作の普及、学校給食への地元農産物活用の推進、農業理解のための教材提供、生産者と消費者等との交流会の実施、直売所の設置運営を行う。</p> <p>② 農協職員が、「愛知県食育推進ボランティア」として活動を行う。</p>
愛知県農業経営士協会	<p>① 農業経営士や農村輝きネット・あいちの会員等が、「豊かな食と農の伝道者」として愛知県に登録し、食や農の大切さを伝える活動をしていく。農家が、児童生徒の農業体験をする際に学校と連携をとって協力していく。</p>
農村輝きネット・あいち	<p>② 農村輝きネット・あいちの会員が、郷土食の継承や地元農産物の加工を行っており、「輝きネット・あいちの技人」としても活動を行う。</p>
愛知県酪農農業協同組合	<p>① 学校給食への牛乳供給の推進や牛乳・乳製品に関する情報提供を行う。</p> <p>② 牧場を教育の場として開放し、体験学習の実践の場とする「酪農教育ファーム」を実施する。</p> <p>③ 愛知県牛乳普及協会が、牛乳・乳製品利用料理コンクールを開催する。</p>
愛知県漁業協同組合連合会	<p>① 魚食普及のための情報提供を行う。</p> <p>② 料理講習会の開催や都市・漁村青年交流会を実施する。</p>
愛知県食品産業協議会	<p>① 個別事業者による食に関する情報発信を行う。</p> <p>② 協議会会員への食品の安全・安心対策に関する研修会や食品事業者と県内農業者等との現地交流会等を実施する。</p>
日本チェーンストア協会中部支部	<p>① 「毎日朝ごはん」等テーマを決めた店頭での食育推進普及活動として、パネルやPOPを使った消費者へのアピールを実施する。</p> <p>② 経済連との共同による「親子による収穫体験」の実施や、食品メーカーや東邦ガス、中部電力とのコラボによる店頭でのクッキングワゴンや料理教室など、バランスの良い食事メニューを紹介する。</p> <p>③ ホームページを使った、バランスの良い食事メニューの紹介や旬の食材を使ったメニュー提案を実施する。</p>
愛知消費者協会	<p>① 消費者と生産者との交流や見学会を実施する。</p> <p>② 食に関するゼミナールや学習会を開催し、賢い選択のための知恵を身につける。</p> <p>③ 機関紙発行時に啓発につとめる。</p> <p>④ 各支部へ食関係のチラシ・パンフレット等を配布し、健康意識啓発につとめる。</p> <p>【重点的な取組】</p> <p>⑤ シンポジウム、学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、結果に基づく学習会 ・シンポジウム（11月）

	<ul style="list-style-type: none"> ・食のゼミナール（1月） ⑥ 親子料理教室（伝統食）、子どもたちとの食育学校（小麦粉） ・地域伝統食料理実習（8月）、ヘルシーおやつ作り（8月） ・「バケツ稲作りの体験」（5月～11月） ・「みそ作り仕込」の実習体験（1月～2月）
<p>名古屋勤労市民生活協同組合</p>	<p>地域での食育活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 食育絵本を使った読み聞かせの活動（食育推進ボランティアと協働） ② 資源再生ネットと菜の花エコプロジェクトの学習見学の取組 ③ 地元JAとの「親子の農業体験」として、田植え、かかしづくり、稲刈りの取組 ④ 産地工場見学の実施 <p>【重点的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ たべる＊たいせつキッズ（通信型食育プログラム） <p>開催期間：4月～来年2月 対象：小学生とその家族（生協組合員）100名 場所：各家庭</p> <p>内容：(1) 年4回料理方法や旬、食に関わる情報を記載した「ワークブック」を各家庭へ送付</p> <p>(2) 子どもたちが家で試したり、調べたりした事柄をレポートとして返送</p> <p>(3) 「応援団」に登録した大人が、レポート内容について共感した事柄などを書き、子ども一人一人に送付</p> <p>(4) 子どもたちのやる気を引き出しながら、食育を進める。</p>